

## 令和2年度10月教育委員会 会議録

開催日時	令和2年10月21日(水) 14:00~16:50	
開催場所	早島町立早島小学校 応接室	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、竹井成範委員、綾野克紀委員、栗坂祐子委員
	事務局	黒木克美生涯学習課長、水玉匠紀学校教育課長、猪木浩二課長補佐 石原知子主幹
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会     教育長あいさつ</li> <li>2 議事・報告案件             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 早島小学校授業参観について</li> <li>(2) ハラスメントをなくすために職員が認識すべき事項についての指針について</li> <li>(3) 令和2年度ICT活用授業・研修等の計画について</li> <li>(4) 令和2年度学力定着</li> <li>(5) 第1回学校評価の経年比較について</li> <li>(6) その他</li> </ol> </li> <li>3 連絡</li> </ol>	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	石原 知子	

### 会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>授業参観ありがとうございました。今朝の新聞に、岡山県は横断歩道に人が立っていても車は止まってくれないと掲載があった。岡山県はワースト3位になっている。1位は長野県で、子どもたちは、車が止まってくると必ず会釈をする。子どもころの経験があるため、大人になって止まるようになる。岡山でも、同じように子どもころの体験が大切である。また、先日早島駅で、コロナウイルス感染症の偏見防止について、ティッシュを配った。中学校の生徒会が、率先して参加し、笑顔で配ることができていた。大変貴重な経験ができたと思う。人のために役立つということが、子どもたちの笑顔を輝かせるので、子どもたちのために場作りをしていきたい。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 2 議事・報告案件

### (1) 早島小学校授業参観について

教育長： 授業参観の様子はいかがでしたか。

栗坂委員：多くの教員がめあてをきちんと書いていたが、めあてがめあてになっていない教室があった。めあての質について考えていく必要がある。6年1組はクラスの雰囲気がとても良かった。机間指導も丁寧で、全員が学ぶ姿勢になっていて頼もしく思った。

道徳の板書について、縦書きが基本だと思うが横書きになっているクラスがあったので気になった。

マスクの着用については、どのように統一しているのか。クラスによっては、マスクをしていないことがあった。

教育長： 基本的には、全員着用するようにしているが、体育の時には、はずしても良いとしている。

竹井委員：4年2組の教室には、タイムスケジュールが書いてあった。子どもにとっては非常に有効な手立てだと思う。

教育長： 見通しを示すことは大変重要。新採用2年目の教員だが、大変字もきれいで分かりやすい。

竹井委員：1年生の国語では、筆に水につけて書いていて、新しい学習方法だと感じた。全体的に教師の言葉づかいは大切なので、丁寧な言葉を徹底することが必要。

綾野委員：授業中に立ち歩いている児童について、普段どのような指導をしているのかが気になった。

教育長： 授業に集中していない児童に対して、長時間声をかけないことが気になる。特性として、じっといすに座ることが難しい児童もいるが、一人ひとりを大切に声をかけていく。

綾野委員：プロジェクター、スクリーンが老朽化しているので、あまり活用されていないように感じた。教育委員会として考えていく必要がある。

教育長：これからは、パソコンとつないでテレビ画面を活用していくことが増えると思う。スクリーンも順次入れ替えを考えている。

大森委員：ますます多様性が重視される傾向があり、教師の指導力が問われている。学力テストの平均値も大切だが、一人ひとりを重視した指導が必要ではないか。クラスで工作をしていたが、個性のある作品が作られていてすばらしかった。ある高校教諭と話をしたときに、今の高校生は幼く、常識を知らないと言っていた。その傾向は強いと思う。

教育長： 個別最適化の授業に向けて、主体的に学びに向かう力や非認知能力を育てていかなければいけないと痛感している。家庭や地域との連携がますます必要になってくる。子ども自身が自分を変えられるようにしていきたい。

(2) ハラスメントをなくすために職員が認識すべき事項についての指針について

教育長： セクシャル・ハラスメントをなくすために職員が認識すべき事項についての指針、セクシャル・ハラスメントに関する苦情相談に対応するに当たり留意すべき事項についての指針、パワー・ハラスメントを防止しパワー・ハラスメントに関する問題を解決するために職員が認識すべき事項についての指針、パワー・ハラスメントに関する苦情相談に対応するに当たり留意すべき事項についての指針、妊娠、出産、育児または介護に関するハラスメントをなくすために職員が認識すべき事項についての指針、妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメントに関する苦情相談に対応するに当たり留意すべき事項についての指針について作成した。

指針についてお気づきの点があればお願いしたい。

綾野委員：マタニティハラスメントについては、同僚よりも管理者の方が起こす可能性があるのではないか。

教育長：同僚でも、私は育休を取っていないのにとか、今休まれると困るなどの話はある。しかし、学校では、休みやすい雰囲気はある。

大森委員：中小企業で人がいない職場ほどマタニティハラスメントは起こりやすいかもしれない。ハラスメントでの処分は多いのか。

教育長：ハラスメントでの懲戒処分などはあまりないが、先日の神戸の職員間のいじめはまさにハラスメントである。

綾野委員：法律違反であり、懲戒処分の対象になる。

栗坂委員：セクシャル・ハラスメントは、女性を対象にしているように思われがちだが、男性が女性に対してだけでなく、女性が男性に行くこともあるため、表記を異性に対するとしたほうが良いのではないかと。

教育長：海外ではそのような事例も多くあるため、表記に関しては検討を行う。指針についてはよろしいか。

全委員：了承した。

(3) 令和2年度ICT活用授業・研修等の計画について

教育長：現在職員・児童・生徒に、一人一台のipadを導入しているところである。年間のロードマップをもとに、教員が校内研修や個人研修を進めていく。まずは、授業で活用してICTに慣れるということから始めていく。子どもたちに家庭へipadを持ち帰らせることは前提としていない。

大森委員：全校の児童が使うとなるとネットワーク環境は大丈夫か。

教育長：今年度、見直しを行い現在使用可能な状況になっている。学校では、Meetを使用しているが、会議等ではZoomを使用することもある。ICT活用授業・研修等の計画についてはよろしいか。

全委員： 了承した。

(4) 令和2年度学力定着状況確認テストの実施について

教育長： 11月18日(水)に学力定着状況確認テストを小学4年生から中学2年生に行う予定である。授業時数はしっかりと確保できたが、重要なことは学んだことが身についているかどうかということ。9月までの学習内容をしっかりと復習してテストに臨んでほしいと思っている。タブレットドリル等を活用して復習を促している。

確認テストについてはよろしいか。

全委員： 了承した。

(5) 第1回学校評価の経年比較について

教育長： 前回の教育委員会でも示したが、学校評価を学年ごとの比較にまとめている。データはあくまで指標ではあるが、あまりに数値が低いと気になる。早島小学校では、1年生の数値が一番高く出ているため、学年が上がるごとに数値が高くなるようにしていきたい。経年比較をすることで、評価をしていきたい。

(6) その他

竹井委員：学校で教育委員会を行うのであれば、校長先生も参加して意見交換ができればと思う。そのような機会を設けてはどうか。

教育長：教育委員会だけではなく、話し合いの会をもつことは可能である。

竹井委員：学校の要望や困っていることを話せる場が必要ではないか。

教育長：座談会を設定し、数名の教員と交流を持つ場が年に一度はあってもよい。

大森委員：予算のことなども話し合えたら。

教育長：夢を語る会にできたらと思う。全職員は難しいが、教育委員会にあわせて希望者を募りたい。

教育長：

- ・11月教育委員会 11月13日(金) 15時～17時  
早島町民総合会館 2階 集会室